

2023 年度 第 4 回理事会の概要

2023 年度第 4 回理事会は、2024 年 3 月 31 日(日)13 時 30 分から対面とオンライン併用方式により開催されました。

出席者は、山崎健会長、熊澤健一、熊田俊郎、西野淑美、磯部友彦、松本行真、土居洋平(以上対面出席)、増田聡、松村茂、井澤知且、久 隆浩、佐藤彰男、田中晃代、川瀬正樹、石川雄一、山下宗利、森 傑、平井太郎、大塚俊幸、佐野光彦、川田力、有馬隆文(以上オンライン出席)の各理事です。

議事の概要は次の通りです。

■ 議題 1 2023 年度事業報告案および決算報告見直し

本部事務局より、2023 年度事業報告および本日時点での決算見通しが報告されました。今後、確定次第、理事会で決定し、総会に諮ることになりました。

■ 議題 2 2024 年度事業計画案および予算案

本部事務局より 2024 年度事業計画案および予算案が報告され了承されました。なお今後事業計画等に追加がなされることもあると説明がありました。

■ 議題 3 学会賞事務局報告

学会賞事務局より、次の報告がありました。①外国語著作賞には 1 件、推薦がありました。②論文賞の候補を絞り込んでいます。学会賞・学術共同研究賞・まちづくり賞は 4 月末を締め切り各地域都市学会に推薦依頼をしています。

■ 議題 4 年報事務局報告

年報事務局から年報 57 号の編集状況などについて報告がありました。

■ 議題 5 論文審査事務局報告

論文審査事務局より、2023 年度論文審査が最終段階にあるとの報告がありました。また審査事務の負担、査読者選定への協力要請について説明がありました。

■ 議題 6 第 70 回大会報告

関東都市学会より 2023 年に開催された日本都市学会第 70 回大会について、参加者数 100 名であったことなどが報告されました。

■ 議題 7 第 71 回大会について

東北都市学会より日本都市学会第 71 回大会の概要、大会テーマ、開催告知文の説明がなされました。3 日目午後に、山崎会長から依頼のあった特別セッションとして能登半島地震を取り上げることとしました。東日本大震災・原子力災害伝承館を中心に防災、公衆衛生、心理学の専門家を交えて実施する予定です。

■ 議題 8 倫理委員会報告

倫理委員会委員長より、本年度倫理委員会に付された審議案件はなく、委員会の開催はなかったと報告がありました。

■ 議題 9 論文審査委員の改選

本部事務局より、2024 年度は論文審査委員の改選時期に当たり、関東から 2 名(都市社会 1 経済地理 1)、中部から 1 名(経済地理) 地域都市学会に推薦依頼することについて提案があり了承されました。

■ 議題 10 学会活性化検討委員会(仮称)委員(報告)および委員長の選出

山崎会長より、学会活性化委員会(仮称)の委員について報告がありました。野村理恵(北海道)、松村茂、山田修司(以上東北)、熊澤健一、小山弘美(以上関東)、磯部友彦、阿部亮吾(以上中部)、久隆浩(近畿、1名調整中)、平篤志、池田千恵子(以上中四国)、石川雄一(九州、1名調整中)、熊田俊郎、西野淑美、土居洋平、平井太郎(以上本部事務局)です。

また、山崎会長より中部都市学会会長・磯部友彦理事を委員長に指名したいとの提案があり了承されました。さらに、山崎会長より、新年度から委員会の活動を始める旨、説明がありました。

■ 議題 11 能登半島地震に関する学会の対応について

山崎会長より、能登半島地震に関する日本都市学会としての対応について、被災地域の会員の会費減免、学会として能登半島地震それに伴う震災を取り上げる提案がありました。

後者については議題 7 のとおり、東北都市学会に依頼し能登半島地震特別セッションを開催する旨、報告がありました。

被災地域会員の会費減免については、審議の結果、該当会員からの申し出により日本都市学会会費分(4,000円)を免除することとし、地域都市学会を通じて周知することになりました。会費の地域都市学会分についてはそれぞれの学会が決めるものとししました。

このほか能登半島地震に関連して日本都市学会としてできることがあれば、今後も検討してゆくこととなりました。

■ 議題 12 会長選挙について

本部事務局より、2024年の総会に2025-2026年度会長を推薦するための選挙を実施したいとの提案がありました。理事会で日程実施方法を正式に決定し、投開票の方法等は前回の方法を踏襲したいと説明があり、了承されました。